

「門徒推進員という生き方」を通じて

兵庫教区 教務所長 松本 隆英



門徒推進員の皆さまには、平素より教区内の諸活動推進にご協力いただいておりますことに御礼申上げます。

門徒推進員の皆さまには、平素より教区内の諸活動推進にご協力いただいておりますことに御礼申上げます。この度、事務所に綴じてある創刊号から最新号までをざつと読み返しました。会員相互の情報交換、活動報告、意見発表、そして、新会員紹介コーナーでは中央教修での決意表明が書かれています。門徒推進員の皆さん、お寺の活性化をはじめ、み教えを伝える努力を今までしてきましたことについて頭の下がる思いがいたしました。

私が住職を務めております滋賀のお寺には、かつて六名の門徒推進員の方がおられました。中央教修を終えられた当初は「がんばって活動しなければ」との思いで知り合いの方に法座への参拝を呼び掛けたり、子ども会のお世話や境内の草刈りなどもしてくださいました。しかし、ある門徒推進員さんは高齢化とともに活動ができなくなり、「門徒推進員といつても名ばかりで返上しなければあきませんわ」と話しておられたことを覚えています。そんなときに、亡き前坊守は「法座でお聴聞する姿を見せてくださいてるだけいいんですよ」と話していましたことを覚えております。

門徒推進員の具体的な役割や願いを明示するため「門徒推進員という生き方」(理念)が作成されました。その中で「門徒推進員は『資格ではなく自覚』といわれてきました。しかし『自覚』といいながら何らかの活動をしなければならないという意識を与えてきました。

(中略)『活動』は尊いことですが、必ずしも『活動』が伴わなければならぬわけではありません。お念佛は人々に伝わることこそ門徒推進としての生き方として大切な役割でありましょう」と示されています。

前坊守のことばと重なりました。昨年「協議会」は結成三十五周年を迎えました。高齢化だけでなく、コロナ禍は寺院活動や門徒推進員活動に大きな影響があつたように思います。また、近年の研修会などでは連研を終えても中央教修に進まれる方が少なくなっているという声もよく聞きます。そんな中、来る四十周年に向け「門徒推進員という生き方」を支えに、さらに賑やかになつた協議会の様子を「かけ橋」でお届けできればと思つております。そして、次代を担う新会員の紹介コーナーが充実できることを願っております。

「かけ橋」編集委員の皆さま、引き続きよろしくお願ひいたします。

門徒推進員への思い

兵庫教区 教務所元職員 長尾 真

門徒推進員の方々とご縁をいただいたのは、今から十六・十七年前になろうかと思います。門徒推進員連絡協議会を担当させていただく中で、私自身多くのお育てをいただきました。総会・研修会をいたしました。兵庫教区は、全国に先駆けて連研をスタートさせた教区であり、熱心な活動が現在も継続されています。教区においても連研の研修会を通して多くの学びとお育てをいただきました。連研とは、「お互いが教化者と受講者という関係ではなく、共に学び合い、育て合うのが連研の真の姿である」との言葉に門徒推進員養成の心を学びま

から始まる年度行事、第三連区の研修会、また教区内での持ち回りの研修会、二年に一度の連研修了者大会（当時は京都の本願寺会館でのスタッフとしてお手伝い）、また、神戸別院の諸行事へのご協力、多くの皆様と共に汗をかき、語り合い、共に泣き笑いしたことを昨日のことのように思い出します。とりわけ、第三連区の研修会、近畿の門徒推進員さんとの有意義な情報交換や夕食懇親会での和やかな交流、各教区のアトラクション（兵庫教区は主に男女混合のコラス）など懐かしく楽しい思い出はつきません。

門徒推進員の皆様にお育てをいただく中、学ばせていただいたことの一つに連研への思いがあります。特に兵庫教区は、全国に先駆けて連研をスタートさせた教区であり、熱心な活動が現在も継続されています。教区においても連研の研修会を通して多くの学びとお育てをいただきました。連研とは、「お互いが教化者と受講者という関係ではなく、共に学び合い、育て合うのが連研の真の姿である」との言葉に門徒推進員養成の心を学びま

した。
また、もう一つの学びとして、

門徒推進員は「資格」ではなく「自覚」であるという言葉であります。資格云々の思いがどうではなく、まさに自覚の心に立ち、活動をしていくことが大切であるということです。よく当時の会長さんに教訓のようにご教授いただいていた「資格」ではなく「自覚」との意識は、門徒推進員だけにとどまらず、私も自身も受け止めいかねばならない思いであります。

私の若い時の話に戻りますが、京都の西本願寺でお経の称え方や作法などを勉強させていただいていた時の話です。ある講義の時、その先生がおつしやいました。それは、「あなたがたに、あなた達の何倍もの年上の先輩の方が、何故あなたにお辞儀をされているのかわかりますか?」との問いでした。その答えに、「それは、あなた達が偉いのではなく、袈裟衣(けさ・ころも)が尊いのです、そのことを決して忘れないよう僧侶としての本分を守り、頑張つてください」との言葉でした。私なりに

重なり合うことでした。

最後になりますが、門徒推進員の皆様には多くのお育てをいたしました。共に貴重な時間を過ごさせていただきたこと、心より感謝申しあげます。多くの学びをこれから糧として、共にお念佛相続の歩みを進めてまいりたいと思います。

門徒推進員の皆様への「思い」とさせていただきます。

慶讃法要ボランティアに 参加して

姫路中組 箕井 公美子

私は門徒推進員になつて四年になります。コロナ禍になる最後の三泊四日の中央研修に参加して、全国の方々と出会うことが出来ました。昨年の四月二十日、二十一日第七回全国門徒推進員の集い「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」が本願寺であります。同年五月十一日は安樂寺、皆光寺、西徳寺の三ヶ寺で本願寺の法要はもちろんですが、親鸞聖人が誕生された日野誕生院と法界

寺を参拝しました。幼少より父と大谷本廟へ墓参りと芝居や京都見物には出かけましたが、ゆかりの地は訪れたこともなく、すべてが

目新しく案内に感謝しています。

二〇二四年五月十六日から十九日神戸別院でも「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」が行われるに当たりボランティア募集がありました。こんな

機会はないということで、姫路中組から五名参加しました。事前のボランティア説明会で役割分担がなされ、過去に大手鐵鋼で秘書業務をしていましたので接待係を希望しました。当日の朝、神戸湊組の中西様から三階を担当して欲しいと言われ、私と同じ組の奥野さんはうれしさを隠せず「よろしいのでしょうか?」とお伺いしました。

この日、二階の接待係がいないと言われ奥野さんが即座に接客にい

冷茶か)とおしほりを出すことと終了時はコーヒーとおしほりを出すように指示されました。

十六日、十五時から私は一人でキヤスパホールの演奏を聞かせて頂いた事やCDを購入し、聞いていることもお伝えしました。お帰りの際「お疲れ様でした。ご苦労様でした」と声をかけると、東儀様が手を出されたので驚きながら握手をして頂きました。十七日は皆様に配布する袋詰めのため、集合時より一時間早く参りました。

この日、二階の接待係がいないと言われ奥野さんが即座に接客にい



慶讃法要 お出迎え

かれ慌ただしい日となりました。十八日同じ組の中谷様がコーラス一人一人で対応され、十九日はホールの参拝者案内でした。私と同じ組の高部さん他のボランティアで、終了後椅子の片付けや忘れ物などのチェックをしました。

全員壇上で記念撮影を行い行事が終了しました。神戸別院での初めてのボランティアに参加して、大勢の方々にお会い出来ましたことに感謝申し上げます。

神戸別院慶讃法要にボランティアとして参加して

網干組 田淵 聰子

別院の法要に四日間ボランティアとして参加させて頂いた感想を「兵庫かけ橋」に投稿して欲しいと、かけ橋編集部の代表委員さんから、お電話を頂きました。ええ!と躊躇致しましたが、四年前に幹事に推薦して頂いたご恩をお返しする時かと、拙い文ですが、お断りしてお受けいたしました。

網干組は、法要の気運高揚を目的にと、本山から法要記念式章が

発売された時、早々に十八領買いました。行事ごとにつけさせて頂いています。四日間の法要の期間、延べ人数二十二名が参加させて頂きました。なお、十七日の網干組の団体参拝には、八名の門徒推進員が参拝しました。網干組は送迎のボランティアをさせて頂きました。紅い法被とお揃いの記念式章で、皆さんようこそ、ようこそと、笑顔で精いっぱい、お迎えし、お見送り致しました。毎日六〇〇名近くのご参拝で、尊いことと、感謝致しました。なかに顔見知りのご住職様や、ご同行をお迎えし驚喜してハグしたりと楽しい毎日でした。また、講演の間は、翌日のご参拝の六〇〇名の方への資料の袋詰めもお手伝いさせて頂き別院の職員様のご苦労を、しのばせて頂きました。そして四日間の記念講演も毎日感動でした。

一日目の東儀秀樹さんの演奏は、素晴らしい鳥肌がたちました。二日目の上野誠さんの洒脱で興味深いお話も面白く三日目の三輪記子さんと釈徹宗さんの対談での、浄土宗のお父様のお話に、涙しました。四日目の、月亭方正さんの

落語では、笑わせて頂き、期待以上のお感銘を毎日楽しませていただきました。

無事御満座をお迎えして、記念撮影を関係者の皆様とご一緒させて頂きました。有難い事と喜んでおります。椅子の片付けもして、ご褒美に売店のお野菜を頂き乐しかったねと、帰路につきました。高齢のご奉仕ですので、皆さんに心配して頂きましたが、お陰様で四日間の参拝の間も、毎日楽しく、その後も、体調順調で有難い事です。法要期間中、娘と孫が司会の大役を頂きましたこと、心より感謝申し上げます。



慶讃法要 お出迎え



慶讃法要 お見送り

標語

一〇二二年度～
一〇二三年度募集

オンラインや
信心どこへお念仏

網干組 善徳寺 山本正則

卒寿の身み教え深くふりかえり
御恩よろこぶおまかせの日々

ありがたや
お慈悲に抱かれ無上の幸せ

なんとなく
私の為の南無阿彌陀佛

阪神東組 明徳寺 繩晴照

神明組 光源寺 米谷陽子

南無阿弥陀仏をとなうれば

穏やかな世の親子孫

出石組 西方寺 宮下美代子

もとと法話を
聞きたかったと亡き弟

播磨東組 報恩寺 古川高精

朝夕の合掌

家族に感謝ごちそうさま

赤穂北組 教専寺 柴田孝一

『何時迄続くコロナ禍ぞ』

じっと我慢の【南無阿弥陀仏】

満天の夜空に輝く

南無阿彌陀佛

阪神南組 正恩寺 榛川恵一

年老いて ますますたのもし
お念仏 南無阿弥陀仏

網干組 龍源寺 松浦平

自力にてみつけ難くも他力にて
見つかる四葉クローバー

佐用組 常徳寺 藤木正助

念佛は乾いた心に

染みる慈雨

赤穂北組 称念寺 石原美幸

ようこそ ようこそ

念佛の声ひびく慶讚法要や

合掌の老いの我が手に

亡き母偲ぶ墓参り

照る日雲る日いろいろあれど

心晴れやか お念佛

網干組 龍源寺 松浦裕代

聴く度に
「愚者」と気付くお聴聞

阿弥陀池

南無と沁み入る佛の声

赤穂北組 専称寺 本林宗興

春彼岸供えし花に

想い人追う朝風と

神戸湊組 行願寺 中西小夜子

たのむ者を

たすけるおいわれ なんとなあ

阪神東組 明徳寺 和田晴美

おかげ様 朝は希望

タベに感謝 南無阿弥陀仏

阪神東組 専正寺 西田孝

穏やかなひと日暮らして

南無阿弥陀仏

朋友に会いたい気持ち

募る日々

本堂に
お聴聞し充つこころ

久々の

別院お参り弾み居る

朋友に

久々会えて笑み零る

佐用組 法覺寺 黒崎文子

毎日の称名念佛は

感謝と私の生きる糧

姫路中組 法性寺 高部みゆき

神明組 光源寺 西本雅昭（明顯）

ナムンダブツ ナンマンダー

どこまで行つても ナンマンダー

何はともあれ ナンマンダ

また称てる
ナンマンダブ
ナンマンダブツ

今は亡き御仏の声聞きたし
南無阿弥陀仏

阪神東組 明徳寺 田口敦子

ナムンダブツ ナンマンダ

ナムンダブツ ナンマンダ

ナムンダブツ ナンマンダ

門徒推進員としての 新たな決意について

阪神東組 萩原 孝志

私がお寺様とご縁ができたのは、父が二〇一八年に亡くなり、葬儀をお勤め頂いた淨宗寺松蔭ご住職様との接点を持たせて頂いたことに始まります。

父が亡くなり、喪主を経験して、人生で初めて仏様と向き合うようになりました。私の両親は鹿児島から七十年以上前に大阪に出てきて、核家族で一人つ子長男として育つた私は、仏壇に向かいお経を唱えるという習慣もなかったのですが、「ご縁」を頂き二〇一九年九月開始の「阪神東組第二十一期」の連続研修会に参加させて頂くことになりました。

父が亡くなり、退職を目前にし、自らの「古い」や「死」と向き合い、自らの人生をどのように終えるべきなのかを考えなければならぬ年齢に達したのではないかと思うようになつたことがきっかけでした。

ただ、連研が軌道に乗り掛けた頃とコロナの感染拡大期と重なつたため、長期の中止があり、Webにて

再開はしたもの、話し合い法座の進行が難しくなり、我々受講者の緊張感が欠如しているのが感じ取れるほどでした。

主催者側の先生方や門推の皆様方も大変だったと思いますが、何とか全課程を修了するまで粘り強く進行して頂いたことに心より感謝申し上げる次第です。

修了式で受講者を代表して決意表明を述べさせて頂いた手前、自ら中央教修への参加をお願いして、門徒推進員として登録される運びとなりました。

ただ昨年、「古希」を迎えたにもかかわらず、未だに「むさぼり」「おろかさ」「いかり」の三毒の煩惱に振り回されています。

特に最近は、「いかり」のコントロールが難しく、目の前のテレビで放映される「イスラエルとハマスの戦闘」や「ロシヤのウクライナへの侵略」など、自らは何もできないにもかかわらず、テレビに対して毒を吐いている自分が情けなくなります。

このように無駄に歳を重ねただけのような私が、「連研」並びにそれを継ぐ「中央教修」を通じて浄土真宗の「教義」、親鸞聖人の「み教え」

に触れた程度ではありますが、今後、年老いて、死を迎える日まで生涯念仏者として以下の実践を行なっていくことを決意いたします。

①門徒推進員としての自覚を持つ。寺院、家庭、職場や地域などで日常生活に根ざした活動を積極的に展開します。

②できる限り身を慎み、言葉を慎んで、自らの在り方としては「少欲知足」、また他者に対する「和顔愛語」を目指して参ります。

③阿弥陀如来の願いを自らの願いとし、阿弥陀如来のお心を自らの心のものとして、自覚と主体性を持って歩んでいくことを誓います。

知らず知らずのまま連研に行きました。連研スケジュール表に「話し合い法座」と書いてありました。知らない人と何を話したらいいかとずっと悩んでました。ところが、コロナ禍で「話し合い法座」が中止となり、ラッキーと思いましたが、今思うと残念でなりません……。

一年半で終わる連研がコロナ禍で足掛け三年間かかりました。同じ班の方でもマスク姿しか知らないままでお別れしてしまいました。そしてコロナ禍があけて、またであつてよかつた夫に中央教修に行けと言われて、中央教修に行きました。

す？？奥さんがいます？？本当に僧侶ですか？という気持ちでお寺参りを続けました。そしてお聴聞を重ねるうちに欲深くて、煩

惱だらけで、愚かな、無力な「自分」に「そのままでいい」と阿弥陀様がおしゃつてますよと浄土真宗のみ教えにあいました。頼りにして、ほつとしております。改めて夫にであつてよかったです。

ある日、であつてよかつた夫に連研に行けと言われて、泣々、連研行くことになりました。

ご縁

赤穂北組 本林 幸

不思議なことで、中国人の私は今、こうして「かけ橋」に発表する原稿を書いております。

十年前に、夫と結婚して日本に来ました。初めてお寺参りしたときに不思議な光景で驚きました！お坊さんは髪の毛がありま

第一回目の班別「話し合い法話」は不思議な集まりの自己紹介から始まりました。地域は北海道から新潟県、三重県、大阪府、兵庫県、広島県、島根県、山口県、中国まで、そして年齢は三十代から七十代まで、性別も違つて、職業もそれぞれの集まりです。不思議だと思いませんか?

最も印象に残つてるのは「決意表明」でした。心臓が喉から飛び出そくくらい緊張しました。「決意表明」の後の「茶話会」で、緊張しましたね、

名前を言い忘れました、法名を言い忘れました、…と語り合い、大人の会話なのに、まるで小学生のよう純粹で楽しかつたです。そして講習が進んでるうちに、悩んでいた「話し合い法座」もいつの間にか楽しくなつてきました。話し合うこと、聞き合うことで、人それぞれの意見を尊重することは大事なことだと学ばせていただきました。

ご縁というものは不思議ですねと肌で感じました。ご縁があつて夫にでいい、浄土真宗にでいい、「そのままでいい」とおっしゃる阿弥陀様

の願いを聞く身にならせていただきて、門徒推進員にならせていただきました。

不思議なご縁を大事にし、「お聴聞」と「お念佛」を重ねることは阿弥陀様にせめての御恩報謝になることを「このままの自分」が念じております。

合掌

兵庫教区門徒推進員連絡協議会 役員紹介

副会長

赤穂北組 専稱寺 本林宗興

◆何時もお念佛とお聴聞を

朝来組 如来寺 尾崎智恵

◆お念佛の和を広げましょう

会計

神崎組 正善寺 楠田光好

◆淨土真宗の「み教え」を大切にしましょう

新会員紹介

〔会員番号、氏名、所属寺、中央教修での決意表明を紹介しています。敬称略。〕



七四二番
上田 喜美子

279回 指龍東組 善導寺

◆私は心おだやかに、ご縁のある方々、新しくご縁をいただける方々と、よりそういうことを心がけ共に歩んでまいります。



七四六番
原田 瑞穂(釋 笑穂)
281回 指龍東組 善導寺

◆煩惱とは無縁の生涯念佛者として阿弥陀如来様の願いを自らの願いとし歩んでいくことを誓います。



七四五番
萩原孝志(釋 宏智)
281回 阪神東組 浄宗寺

281回 阪神東組 浄宗寺

◆生かされていることを喜び一生懸命生きていくことを誓います。



七四五番
福本 きよ子
279回 赤穂北組 得乗寺

279回 赤穂北組 得乗寺



七四三番
花田 齋
275回 赤穂北組 得乗寺

275回 赤穂北組 得乗寺

◆私は、お寺の行事に参加し、聴聞に励みます。



七四七番
村尾 富江
281回 指龍東組 善導寺

281回 指龍東組 善導寺

◆私はすこしでも仏さまのお慈悲の心をマネできるように歩ゆんで行きたいと思います。



七四九番
本林 幸
283回 赤穂北組 専稱寺

283回 赤穂北組 専稱寺

門推の日 参加者募集

期日 每月第一土曜日 10:00~12:00

会場 神戸別院 3階会議室

特記 13:30より神戸別院第一土曜日
仏教講座に参加
(7月、10月、11月、12月)

どなたでも参加OK。
会員同士の交流を深めましょう。